

## マタニティケアの選択 Maternity Care Options

次の記事は NSW 州保健省が製作したものです。

大半の女性は健康な妊娠と普通の出産を経験しますが、妊娠中、出産時、出産後に受けるケアはこの経験の質を高め、生じる可能性のある問題の早期発見を助けます。女性の希望する選択に対応できるように、妊娠と出産に関するケアには様々な選択肢が用意されるようになりました。住んでいる場所にもよりますが、主なケアを受ける相手として助産婦か医師のどちらかを選べる場合もあります。また、出産場所も病院、出産センター、または自宅の中から選べるかもしれません。この選択は、妊娠中のあなたと赤ちゃんの健康状態に左右されることとなります。サービスによっては、料金のかかるものもありますが、メディケアがあれば自己負担料金のないものもあります。どのマタニティケアを選ぶにせよ、ケアの予約を入れる際には通訳が必要であることを先方のスタッフに知らせておくことが重要です。通訳サービスはどこにお住まいの方でも利用することができ、通訳者が同席する場合もあれば、電話通訳が提供されることもあります。

### 公立病院でのケア

民間の医療保険に入っていない妊娠女性の大半は、公立病院への紹介状を自分の主治医 (GP) から入手します。あなたの健康状態と選んだ病院にもよりますが、予約を入れる担当助産婦から、利用できるケアの選択肢について説明があるでしょう。

### 公立病院の妊婦クリニック (メディケアカードのみ - 自己負担費用なし)

公立病院の産科クリニック (antenatal clinics) はすべての女性が利用でき、医師と助産婦がケアを提供します。常に同じ人からケアを受けることにはならないかもしれませんが、同クリニックでケアを提供した医師や助産婦が、出産の立会いや産後のケアを行うことになる可能性は低いと言えます。このクリニックでは普通の妊娠と困難な妊娠を経験している女性に対して医療サービスが提供されますが、大変混んでいるため、決まった予約時間に行っても、しばらく待たなければならないこともあります。

### 助産婦クリニック (メディケアカードのみ - 自己負担費用なし)

多くの規模の大きい公立病院では、助産婦または助産婦グループが運営する「助産婦クリニック (midwives clinics)」があります。このクリニックは地域で運営されることもあり、その場合には「院外クリニック (outreach clinic)」と呼ばれています。助産婦とは、普通の妊娠と出産を経験する女性に完全なケアを提供する資格を持った専門職者です。このクリニックで働く助産婦は、普通の妊娠を経験する女性を対象に、通常は全妊娠期間を通じたケアを提供します。このモデルの妊婦ケアでは、女性は妊娠中に助産婦と知り合うことができ、何か問題が生じた場合には、助産婦を通じて病院の医師に紹介されます。出産は病院の分娩室で行い、その立会いとケアはその時に勤務中の助産婦と医師から受けることとなります。産後のケアは産後病棟の助産婦が提供します。

### 助産婦チームケア/グループケア（メディケアカードのみ—自己負担費用なし）

ほとんどの女性は妊娠、出産、産後の全期間を通して知り合った人から、一貫した情報とケアを受けることを望みます。女性が明らかに意思表示をしているこのニーズに対応して、公立病院では助産婦によるチームベースのケアプログラムを導入する所が増えてきています。助産婦によるチームケア/グループケア(Team Midwifery/Midwifery Group Practice)は、小人数の助産婦がグループ単位で協力して妊娠中、分娩と出産時、産後のケアを女性に提供するものです。都市部の規模の大きい病院の多くでは、助産婦チームケアプログラムや、それに類似した継続性のあるケアプログラムを現在では行っています。

### 主治医との共同ケアプログラム（費用がかかる場合があります）

現在、大半の病院では、主治医(GP)と病院が共同で行うケアを妊娠中に受けるという選択肢を女性に提供しています。このケアプログラムに参加する GP は、妊婦ケアを提供できるようになる前に一定条件を満たさなければなりません。出産の立ち会いと産後のケアは、ほとんどの場合は病院の助産婦と医師が行いますが、場合によっては、特に農村地域では GP も出産に立ち会うことがあります。共同ケアを提供できるバイリンガルの GP もいます。あなたの GP がメディケアカードを持つ患者には診察料を請求しない「バルクビル」を行わない場合や、メディケアカードを持っていない場合には、このサービスに対する料金を払わなければなりません。共同ケアを手配するには、地元の病院に連絡を取り、あなたの GP がその病院と共同ケアを行っているかどうか調べてください。メディケアカードをお持ちでない方は、自分の受けるケアに対する料金を払わなければなりません。メディケアカードのない女性の場合には、GP と公立病院との共同ケアが通常は最も安い選択肢です。メディケアカードをお持ちでなく、料金の支払いも困難な場合には、病院と話し合ってください。

### 早期退院プログラム（メディケアカードのみ—自己負担費用なし）

以前よりも女性の入院期間が短くなっているため、多くの病院では「早期退院プログラム」を設置しています。これは、普通出産後 48 時間以内、または帝王切開の場合には産後 72 時間以内に退院することを選ぶと、産後 1 週間まで、助産婦に自宅に来てもらうことができるというものです。早期退院が助産婦チームケアの一環である場合には、妊娠中に会っている助産婦が自宅を訪れることになります。このプログラムは、健康な女性で、自宅の方が快適でゆっくり休めると思う方に適しています。

### 私立病院でのケア（費用がかかります）

適切な民間医療保険に加入している方は（または加入していなくても、料金を支払う意志のある方は）、妊娠中のケアを受け、私立病院での出産に立ち会ってもらい個人産科医を選ぶこともできます。個人産科医が訪問権を有する公立病院であれば、同産科医に公立病院での出産に立ち合わせることもできます。産科医とは、妊娠と出産を専門に扱う専門医です。このケアが保険でカバーされるかどうかは、加入している医療保険会社に確認してください。私立病院や個人医師によるケアの料金は、医療保険で完全にカバーされず、料金の一部を支払わなければならない場合もあります。

### 出産センターでのケア（メディケアカード保有者は無料）

どこにお住まいか、また健康上の問題や妊娠中に問題が生じるかどうかにもよりますが、出産センター(Birth Centre)でケアを受けるという選択肢を選べる場合もあります。同センターには GP から直接紹介してもらうこともできますし、病院の助産婦がケアの予約時に、この選択肢があることを教えてくれることもあるでしょう。出産センターは大半が病院内にあり、助産婦によって運営され、ケアが提供されていますが、問題が生じた場合に備えて医師によるバックアップサポートがあります。産科医によっては、出産セン

ターで出産する女性に立ち会う医師もいます。ケアを受ける医師を自分で選んでいる場合には、出産センターでの出産に立ち会うかどうか尋ねてみてください。出産センターは家庭のような環境を提供し、この環境で助産婦が妊娠中の女性のケアを行い、出産時にはできるだけアクティブに、自然分娩ができるように女性を助けます。妊娠中または出産時に問題が生じた場合には、女性は付属病院に送られて医師と助産婦のケアを受けるようになります。

### 家庭出産のケア（費用がかかります。）

毎年オーストラリアでは、数百人の女性が家庭出産という選択肢を選んでいますが、これらの女性は通常、病院ではなく個人で働く独立した助産婦からケアを受けています。つまり、このサービスには費用が伴います。民間医療保険の中には、助産婦サービスにリベートを払うものも一部にあります。妊娠中、出産時、産後のケアは同じ助産婦または助産婦グループが提供します。この選択肢を選んで、妊娠中または出産時に問題が生じた場合には、病院で赤ん坊を産まなければならないことがあります。この場合には、大半の助産婦と一緒に病院へ行ってあなたをサポートし、病院への訪問権を有する助産婦であれば、病院の医師と助産婦と共に継続してケアを提供することになります。

英語で電話をすることが困難な方は、電話 131 450 の翻訳・通訳サービス（TIS）をご利用下さい。

マルチカルチュラル・コミュニケーションのホームページ<http://mhcs.health.nsw.gov.au>では、これ以外にも日本語の保健関連情報をご覧いただけます。

ここに記載された電話番号は本書出版時において正しいものですが、継続的な更新はされませんので、電話案内で確認する必要がある場合もあります。